

石川地方地域自立支援協議会

障がい者理解促進研修・啓発事業

映画「ちづる」 上映会・監督講演会

入場無料

要
事前申込
(※電話申込)



妹が僕に
映画を
つくらせた。

赤崎正和監督作品

製作・原案・脚本・監督 赤崎正和
監督 赤崎正和 脚本 赤崎正和 原案 赤崎正和
製作 赤崎正和 2011年日本映画 100分
配給 石川地方地域自立支援協議会



©2011「ちづる」上映委員会

11月24日(日)

やぶさめアリーナ

(古殿町民体育館) ※上履き持参

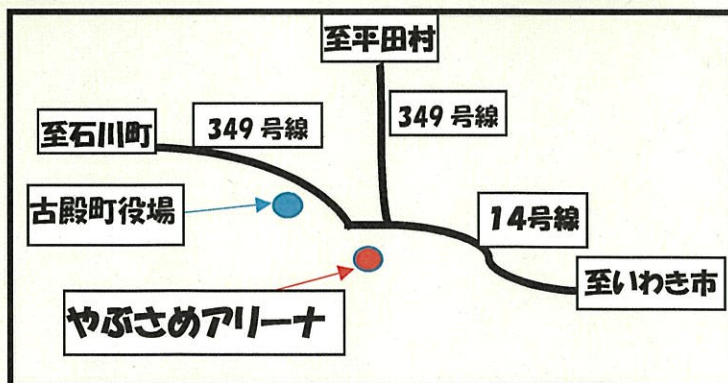
(住所:古殿町大字松川字横川82-1)

第1部 映画上映会 13:30~15:00

第2部 赤崎正和監督講演会 15:15~16:15

申込・問い合わせ先 古殿町役場 健康福祉課 ☎0247-53-4616

(月曜~金曜(祝祭日除く) 午前9時00分~午後5時00分)





©2011「ちづる」上映委員会

妹のことをどう説明したらいいかわからない。だから言葉で伝えるかわりにカメラを向けることにした。

立教大学現代心理学部映像身体学科の赤崎正和が監督したドキュメンタリー「ちづる」。自身の卒業制作として企画されたこの映画は、知的障害と自閉症をもった赤崎の妹・千鶴とその母を1年に渡り撮り続けた、みずみずしくも優しい家庭の物語である。

最も身近な存在でありながら正面から向き合えなかった妹にカメラで対話した監督は、映画を撮り終える頃、家族との新しい関係を築きあげている自分に気づく。作者の精神的な成長がいみじくも映像に刻印されてしまった稀有なドキュメンタリーの誕生。”若さ”が成し遂げた映画の奇跡がここにある。



制作、配給、宣伝はすべて立教大生が担当。大学の教員と学生が映画界に挑戦！

赤崎の指導教授であり、ドキュメンタリー「蟻の兵隊」「先祖になる」の監督・池谷薫を中心に現役の立教大生が映画公開における制作・配給・宣伝のすべての業務にチャレンジ。全国規模の劇場公開を実現させた。

自閉症について・・・先天的な脳機能の障害のために、発達期にさまざまな行動特性が明らかになる。人によって障害の現れ方は異なるが、他者とうまくコミュニケーションがとれない。視線を合わせにくい。周りの雰囲気を感じた行動ができない、同じ行動や動作を繰り返す、特定の物や場所に強いこだわりがある、といった特徴があげられる。最近ではアスペルガー症候群も含めて自閉症スペクトラム障害と呼ばれる場合が多く、100人に1人程度いると見られている。

石川地方地域自立支援協議会は、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町で、地域における障がい福祉に関する連携及び支援体制を構築し、障がい者等が安心して暮らせる地域づくりに必要な支援協議の場として共同設置しています。障がい者相談支援事業者、障がい福祉サービス事業者、保健・医療関係者、教育関係者、雇用・就労関係者、障がい者関係団体代表者、民生児童委員協議会、行政機関で構成しています。この上映会等は、一昨年度より実施しております。(内容は毎年協議会で選定しております)